



内閣府（防災担当）

南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討 ワーキンググループ（第4回） 議事要旨

1. 日時

平成29年3月24日（金）13:00～15:00

2. 出席者

平田主査、岩田委員、宇賀委員、河田委員、小室委員、田中委員、長谷川委員、平原委員、山岡委員、山崎委員、川勝（代理：外岡）委員、尾崎委員、行政委員（内閣官房（国土強靱化室）、文部科学省、国土地理院、気象庁）、清水LNG（株）古川取締役所長、羽深 内閣府審議官 他

3. 議題

- (1) 事業毎の地震対策の現状と、それを踏まえた不確実な地震発生予測の活用の可能性の検討
 - ・ガス関連事業（石油コンビナート）
 - ・鉄道事業
 - ・社会福祉施設
- (2) 大規模地震の発生確率やエリア等に応じた防災対応のレベル化

4. 議事要旨

- ガス関連事業（石油コンビナート）・鉄道事業・社会福祉施設における現状の地震・津波対策の取組について、事務局より説明を行った。
- ガス関連事業（石油コンビナート）については、清水LNG（株）古川取締役所長より事業者の具体的な取組について話題提供がなされた。
- 不確実な地震発生予測に基づく対応の整理の考え方として、事務局より地震災害のリスク（切迫度 × 脆弱性）に応じた対策のレベル化についての説明を行い、各委員からご意見をいただいた。

以上